令和7年3月14日

保護者の皆様へ

廿日市市立大野東小学校
校長　　林　健一郎

令和6年度廿日市市学力定着状況調査の結果について

廿日市市では第4学年を対象に学力定着状況調査を1月15日（水）に行いました。それに合わせ，本校では全学年で国語・算数の2教科の学力調査を行いました。

結果の分析をし，課題となった問題については，3月の学年のまとめとして補充学習を進めてきました。本年度の学習指導の成果と課題を踏まえ，来年度の教育に積み上げていきたいと考えています。お子さんの個人票とあわせ，ご覧ください。

各学年の結果 【 正答率（%） 結果の分析○ 今後の取組・ 】

＜第1学年＞

	本校	廿日市市	全国
国語科	69．6%	75．9%	74．0%
算数科	81．7%	84．8%	81．1%

○算数科は基礎的な学力が概ね定着していますが，国語科は定着が不十分です。
○国語科では，特に文章を読み取ることと，文章を書くことに課題があります。
・文章を声に出して正しく読んだり，大事な言葉や文に線を入れて読んだりすることで，文章の大体をつかみながら読むことができるように取り組んでいきます。
・自分の思いや考えを書く活動を継続して指導していきます。
○算数科では，式から文章問題をつくることと，長さ・かさの比較に課題がありました。
・文章問題では，キーワードに線を入れ，絵や図に書いて考えて解いたり，式からキーワードを入れて問題作りをしたりするなどの活動を取り入れていきます。
・長さ・かさの数量比較については，日常生活でも使えるよう継続して指導していきます。

＜第2学年＞

	本校	廿日市市	全国
国語科	75．3%	79．1%	75．9%
算数科	72．7%	75．5%	69．1%

○国語科では，文章の中の重要な語を考えて選び出したり，話す事柄の順序などの話し手の工夫を捉えたりすることは，概ね定着しています。しかし，意味による語句のまとまりを理解することに課題があります。
・朝学習の「言葉集めリレー」では，「似た意味の言葉」や「感情を表す言葉」など，児童にとってあまり身近ではない言葉をテーマとして出題します。
・たくさんの語句を増やすのと同時に，意味による語句のまとまりごとに整理するようにしていきます。
○算数科では，たし算，ひき算，かけ算の学習は概ね定着していますが，数直線，時間と時刻の学習に課題があります。
・1めもりあたりの数量を理解して数直線を正しく読み取れるようにします。
・日ごろから10とびや100とびの数え方を定着させるようにします。
・順序立てて，問題を解くように指導していきます。

＜第3学年＞

	本校	廿日市市	全国
国語科	62．7%	65．5%	62．3%
算数科	69．1%	73．7%	70．9%

〇国語科では，漢字の読みは概ね定着していますが，書きに課題があります。また，条件に合わせて文章を書くことにも課題があります。
・漢字の定着を図るため，書く練習をしたり，ミニテストを行ったりしていきます。
・語彙を増やすために，朝学習でオノマトペ見つけをしたり，二文字しりとりを続けていきます。
・振り返りなどを行う際に，使う単語や段落数を指定して，書く練習をしていきます。
〇算数科では，加減の計算は概ね定着していますが，乗除の立式や長さの量感に課題があります。
・文章題を解く際，場面を把握するために，絵・図・数直線などをかいて，立式するようにしていきます。
・単位の換算の復習をしたり，適切な単位を選ぶ練習に繰り返し取り組みます。

＜第4学年＞

	本校	廿日市市	全国
国語科	71．0%	71．2%	69．9%
算数科	67．9%	73．0%	68．0%

〇国語科では，漢字の読み・書きや文章の読み取りは概ね定着していますが，中心となる語や文を見つけて要約することや，条件のある中で自分の考えを根拠をもとに書くことに課題があります。
・説明文の授業の中で，大切な言葉や文を見つけて段落ごとに内容を要約する活動を仕組んでいきます。
・説明する際には，簡潔に分かりやすく，理由を明確にして説明できるよう指導していきます。
算数科では，「数と計算」は定着していますが，「垂直・平行と四角形」（分度器で角度を読み取る，平行四辺形をかく，性質をもとに図形を説明する）に課題があります。
・授業の中で，作業の意味を考えながら分度器やコンパスを使っての作図に取り組みます。
・図の説明を言語化することに繰り返し取り組みます。

＜第5学年＞

	本校	廿日市市	全国
国語科	74．2%	74．3%	71．9%
算数科	65．5%	66．6%	62．2%

〇国語科では，正しく漢字を読むことや修飾語など，言語事項の定着に課題があります。また，事実と自分の意見を明確にして文章を書くことにも課題があります。
・修飾語や主語・述語など言語事項の練習問題を定期的に行い，定着を図ります。
・漢字の小テストを定期的に行って習得ができるようにしていきます。
・振り返りなどを行う際に，1段落目に今日の授業から分かったこと，2段落目に今日の授業から自分が思ったことを書くなど，条件を付けて文章を書かせるようにします。
〇算数科では，分数や小数など基礎的な学習内容の定着に課題があります。また，体積を求める内容に課題があります。
・毎日の学習の中で，引き続き基礎的な内容の定着を図っていきます。また，家庭学習なども活用し，定期的に取り組ませます。

＜第6学年＞

	本校	廿日市市	全国
国語科	67．0%	69．1%	69．9%
算数科	59．1%	67．9%	67．3%

〇国語科では，漢字の読み・書き，文と文との接続の関係の理解，登場人物の心情等について描写をもとに考えること，条件に沿って文章を書くこと等の定着が不十分でした。
・作文指導（卒業文集等）の中で，漢字を使うことを求め，定着を図ります。
・授業時間内に漢字を書く時間を取ることを最後まで行います。
・作文指導（卒業文集等）の中で，長い一文を二文に分けたり，その際に必要な言葉を付け足したりする指導を行います。
・作文指導（卒業文集等）の中で，伝えたい結論につながる文の構成を考えさせます。
〇算数科では，分数の学習の定着が不十分でした。帯分数の逆数を求めること，真分数をかけると元の数より積が小さくなること，1L の重さが分かるときの分数倍の重さを求めること，分数で示された状況と式を結びつけること等，情報を整理することで処理する必要がある問いに対して答えることができない児童が多くみられました。
・授業時間内に分数の問題を繰り返し解く練習を繰り返すとともに，家庭学習でも取り組ませ，処理に慣れさせ定着を図ります。
・図を用いた考え方を再度示し，自分の考えを書かせることで改めて整理できるようにします。